資料５

令和8年度

吹田市在宅医療・介護連携推進事業の取組

令和8年10月7日
[吹田市福祉部高齢福祉室　]

在宅医療・介護連携推進事業　本市の「目指すべき姿」

○ 具体的な連携場面として令和６年度に設定

◆日常の療養支援

支援開始時から本人の希望や意向の把握に努め、多職種間での情報共有により、在宅療養が継続できる。

◆入退院支援

本人や家族の状態や意向について、入院時や退院時カンファレンスによる医療・介護関係者間の連携により、本人が希望する暮らしの場に戻り、安定的に在宅生活を継続できる。

◆急変時の対応

本人や家族の意向の把握に努め、多職種間での情報共有により、急変時に本人の意思を尊重した対応ができる。

◆看取り

適切なタイミングで本人や家族の意向の把握を行い、多職種間での情報共有により、本人が望む場所にて最期まで安心して過ごすことで、本人や家族が満足できる。

高齢福祉室の会議

吹田市在宅医療・介護連携推進協議会　事務局：福祉部高齢福祉室　健康医療部保健医療総務室

目的：在宅医療と介護の連携の強化

令和7年度

令和8年1月28日（水）14時～15時45分参集

市の取組の共有、病院向けに実施したアンケート（入退院の課題等）の共有
医療、介護の連携の課題について意見交換

(部会)吹田市ケアネット実務者懇話会　事務局:福祉部高齢福祉室　地域包括支援センター 健康医療部保健医療総務室

目的:医療と介護の連携強化のため実務者による協議

令和８年度

令和8年7月30日（金）14時～16時オンライン

参加：12病院、４介護保険事業所連絡会部会、医師会、歯科医師会、薬剤師会、５地域包括支援センター

市の取組の共有
「入退院支援」について、医療、介護のそれぞれ立場からの課題を共有

高齢福祉室の取組

●在宅医療・介護連携に関する相談支援

・地域包括支援センターにて在宅医療・介護連携に関する相談対応を実施
・相談対応を踏まえ地域課題・必要な施策等の検討

●地域住民への普及啓発

・介護サービス事業者や医療機関等の情報提供（すいた年輪サポートなび）
・アドバンス・ケア・プランニングに係るリーフレット等の周知
・エンディングノートの作成、周知
・在宅療養等についてのリーフレットの周知

●医療・介護関係者の情報共有の支援

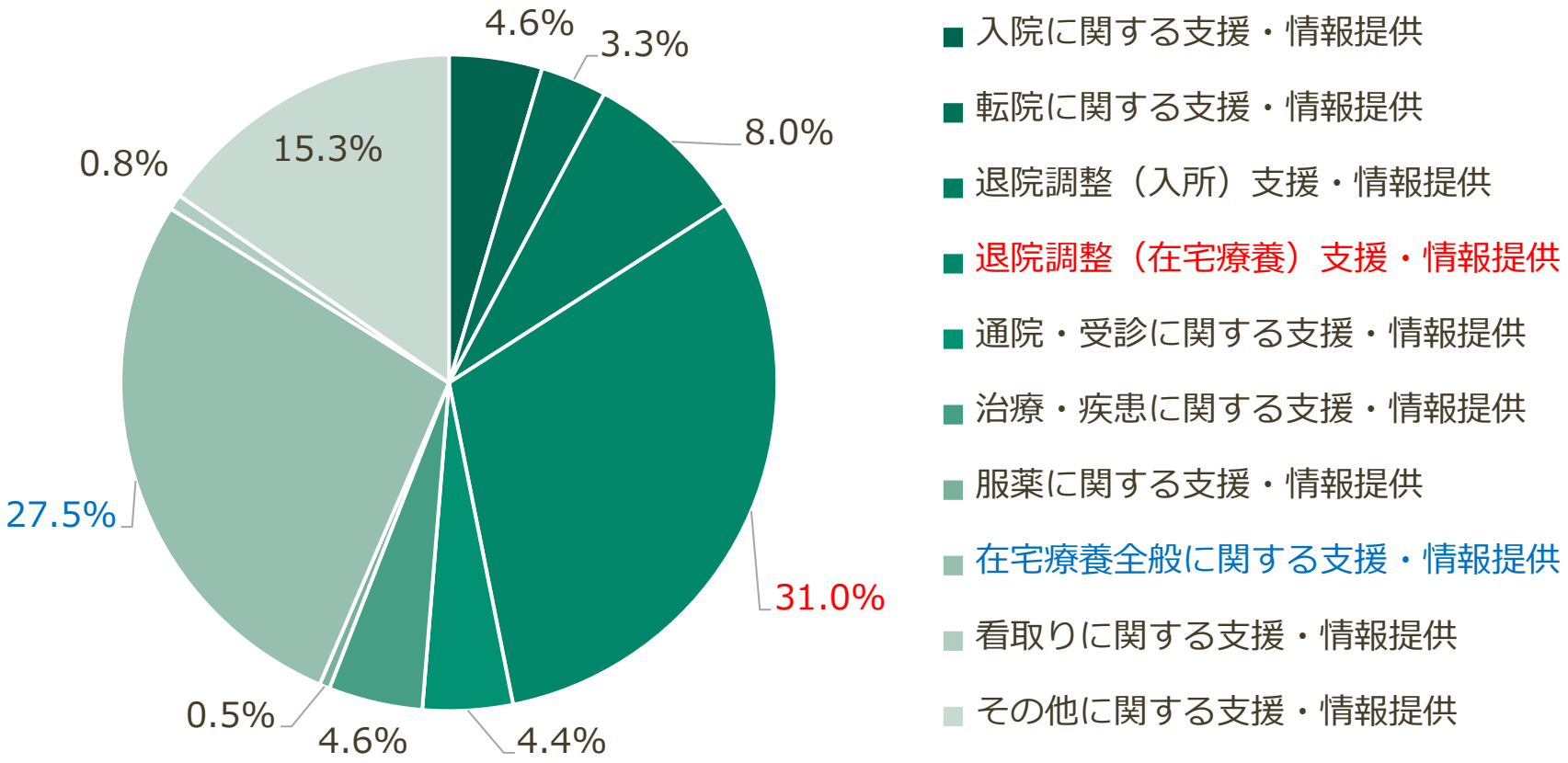
・情報共有ツールを活用した連携促進
・吹田市ケア倶楽部の運用
・地域包括支援センターを中心としたケアマネジャーと医療機関の意見交換の機会づくり
・ICTツールの課題や成果の共有
・連携における課題及び解決策の検討

●医療・介護関係者の研修

・ケアマネ塾の開催
・多職種連携研修会の開催
・ケアマネ懇談会の開催

在宅医療・介護連携に関する相談支援

令和７年度　地域包括支援センター相談内訳



地域住民への普及啓発①

すいた年輪サポートなび

吹田市で利用できる介護サービス事業者や、高齢者の生活サポート情報（家事援助、配食、配達サービス、シニア世代の活動場所等）を検索できるサイト。



令和8年6月より
医療機関（病院・診療所・歯科診療所・薬局）については、サイト内リンク「医療情報ネット（ナビイ）」より検索できるようになりました。

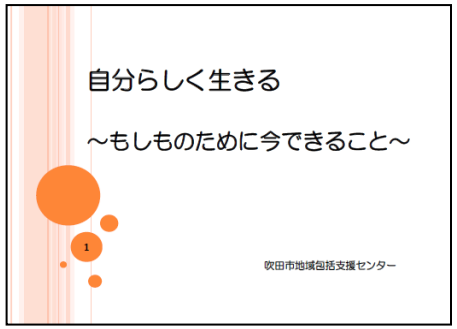
医療・介護サービス、
生活サポート検索システム
すいた
年輪サポートなび

https://carepro-navi.jp/suita

在宅療養等についてのリーフレット

市民向けのリーフレットをホームページに掲載。

地域住民への普及啓発②



出前講座「自分らしく生きる」
（医療機関・地域包括支援センターで活用できるようパワーポイント配布）



ACP市民啓発プログラム
（保健医療総務室作成）



吹田市マイエンディングノート作成
（毎年約5,000部作成し、医療機関、出張所、地域包括支援センターで配架）





人生会議リーフレット
（保健医療総務室作成）

医療・介護関係者の情報共有の支援①

情報共有ツール

医療、介護関係者等が利用者の情報を共有し、切れ目なく在宅医療と介護サービスを提供できるよう、医療・介護関係者等が活用できる手段（ツール）として作成。

利用者情報提供書	入院時等にケアマネジャー（居宅介護支援事業者）が提供するツール。 高齢者が入院等医療を受ける時に、その方の状況（氏名、生年月日、介護認定区分、かかりつけ医、身体の状況等）について短時間で伝えることができ、適切な医療に結び付けることができる。
退院前カンファレンスチェックシート	退院後、在宅療養を進めるに当たり、病院の主治医、看護師等と在宅支援スタッフ等との間で、本人の病態や状況についての情報を共有するための「退院前カンファレンス」に必要な情報項目の整理等をしたもの。

医療機関と地域連携のルールづくり

介護認定申請をスムーズに行うため、①介護申請は誰でも行うことができる、②主治医意見書がスムーズに行えることを主軸としたルールを作成し、医療機関、介護関係者に周知した。（令和5年度作成）

吹田市ケア倶楽部（関係者向けサイト）

市内の介護事業者と医療関係者等の情報共有のため、介護事業者向けに、市の事業に関する最新情報や国の通達、医療機関情報等を発信。

医療・介護関係者の情報共有の支援②

医療機関と地域包括支援センターとの関係づくり

吹田市では、地域包括支援センターが在宅医療・介護連携コーディネーターを担っており、医療機関と定期的に情報交換会を実施しているセンターもある。

令和7年度　実績一部

・大阪府済生会吹田病院　ー　吹一・吹六地域包括支援センター
・大阪府済生会千里病院　ー　ニュータウンブロック（４地域包括支援センター）
・吹田徳洲会病院　ー　千里丘地域包括支援センター

医療機関とケアマネジャーとの関係づくり

吹田市では、地域包括支援センターを事務局に、ケアマネ懇談会（ケアマネジャー同士の関係づくり、勉強会等を目的に開催）をブロックごとに開催。テーマは毎回様々だが、医療機関との関係づくりを目的にした企画もある。

令和８年度　実績一部

片山・岸部、千里山・佐井寺ブロック共同開催

日時　：令和8年5月1日（木）14時から16時
テーマ　：医療ソーシャルワーカーとケアマネジャーの懇談会
参加　：医療機関職員　16名　　ケアマネジャー　42名
　　地域包括支援センター職員　17名

医療・介護関係者の研修①

ケアマネ塾　ケアマネジャーの医療に関する知識の向上を図るため学習会を実施。年２回開催。

		参加者
令和7年度		
第1回（オンライン）	日時　：令和７年８月20日（水）14時から15時30分 講師　：大阪大学医学部附属病院　菊川 澪先生 テーマ　：「若年性認知症について」	**48名** （24事業所） （内６包括）
第２回（参集）	日時　：令和７年11月20日（木）14時から15時30分 講師　：大阪大学医学部附属病院　山中 由芽先生 テーマ　：在宅における緩和ケアと疼痛管理 （疼痛コントロールの種類や方法）	**40名** （22事業所） （内６包括）
令和８年度		
第1回（オンライン）	日時　：令和８年8月26日（水）14時から15時30分 講師　：大阪大学医学部附属病院　渡邉　慧太先生 テーマ　：心不全及び心疾患患者（カテーテル術後、ペースメーカー留置後）の 生活上の注意点など（治療後の自宅生活の継続と連携について）	
第２回（参集）	日時　：令和８年10月９日(金)　14時から15時30分 講師　：大阪大学医学部附属病院　國分　詩織先生 テーマ　：リウマチの薬や生活上の注意点	

医療・介護関係者の研修②

多職種連携研修会

医療・介護関係者等の相互理解と情報共有、顔のみえる関係づくりの促進を目的に開催。

令和7年度

令和7年12月10日（水曜）14時～16時参集

（１） 報告　「現場発！急変時の対応に関する取組報告」

講師　吹田市医師会　やまむらクリニック　山村医師

リード訪問看護ステーション　三輪訪問看護師

リードヘルパーステーション　竹田訪問介護士

吹田市医師会立ケアプランセンター　加藤主任介護支援専門員

吹田市消防本部警防救急室　長嶺参事

（２）グループワーク・講評　・名刺交換

参加者

医療介護専門職 **78名**

地域包括支援センター **16名**

令和８年度

令和８年12月に参集にて開催予定

テーマは、「認知症の方への日常の療養支援」を取り上げる予定。

(1）報告（２）グループワークを中心に、定員90名程度